

明徳公園自然観察会

2011/3/5 (土) 9:30~12:00 天気 (晴)

参加者 一般：11人 (うち子供5人)、指導員：4人 (辻、森、大谷、齋竹)

早朝は冷え込んだものの、陽射しは春の雰囲気でお観察会日和です。西口駐車場に集合し、体操をして観察会の始まりです。今回の見どころはアカガエルの卵とキリの花芽です。

歩き出す前に、森さんが皆に「ドングリコーヒー」を入れてくれました。使ったドングリはマテバシイとシリブカガシで、焙煎後、粉末にしたものを準備しておられ、熱湯を注いでコーヒーと同じようにして味わいました。カフェインは含まれていないようで、参加した子供たちも飲むことができました。でんぷんを焦がした芳ばしい香りがし、コーヒーに似た苦味のある味が楽しめました。2種類のドングリのコーヒーを飲み比べ、味の違いも体験しました。ドングリは硬くて挽くのがたいへんだそうですが、時にはこうして自然の恵みを味わってみることも、記憶に残る観察会になるものと思われま



出発前にドングリコーヒーを楽しむ

カケスやヒヨドリの鳴き声を聞きながら園路を巡り、枯れたカシの切り株でカシノナガキクイムシのあけた小さな穴や樹皮に付いているキノコを観察し

たり、朽木の中の虫を探したりしました。

この観察会で毎回取り組んでいるスケッチですが、今日は「春」を描こうということで、それぞれ周りで春らしいものを探しました。出たばかりの若葉、ツルグミの小さな実、花をつけたスズメノヤリ、冬芽からの芽吹き、ロゼットに見られる陰など、いろいろな春が紹介され、久しぶりに参加されたという画家の方からコメントをいただきました。

池の近くの広場の脇の水溜りでアカガエルの卵塊がたくさん見られました。産卵後、しばらく日数が経過しており、手にとって見ると寒天状の物質に包まれた胚が成長し、ぴくぴくと動き、まもなくオタマジャクシになって出るばかりになっていました。こんな都会の公園でアカガエルが産卵するのに、定光寺では今年産卵が見られなかったと大谷さんが紹介していました。水の中をよく見ると、体長4cm程のオタマジャクシも泳いでいました。こちらは大きさや越冬することからウシガエルのオタマジャクシだろうと話していました。

遊具の置かれた広場の中央付近に、りっぱなキリの木があり、枝には昨年つけた実が残っていましたが、薄茶色の花芽がたくさん付いていました。5月になれば薄紫の花が楽しめるはず

です。広場から駐車場までは、これもここの恒例となっていますが、落ちているごみを拾いながら戻りました。

(記録：齋竹)

<観察できたもの>

動物：キジバト、ヒヨドリ、シロハラ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、アオサギ、カケス (鳴き声)

ニホンアカガエル (卵塊)、ウシガエル (オタマジャクシ)

植物：スズメノヤリ、ツルグミ